



藤原 伸 議員
(明和会)

定住自立圏構想の取り組みは 個別の事業により連携を深める

Q 国では地方圏における定住の受け皿を形成するため、圏域全体として必要な生活機能を確保するため「定住自立圏構想」を施行したが、本市では中心市でなければ取り組む考えはないか。将来的に近隣市としての参加の可能性はないのか伺う。

A 【市長】 奥州市と北上市を中心とする定住自立圏構想に本市が参加した場合は中心市ではなく近隣市となり、中心市に交付される8千5百万円を上限とする特別交付税も、近隣市では1千5百万円の交付であることなどから、現時点で参加は考えていない。今後も本定住自立圏構想にはこだわらず、遠野市及び北上市など近隣市町と個別の事業について連携を深めていく考えである。

消防団の再編成は

Q 消防団員の確保が課題となっているが、各消防団が管轄する世帯数の状況は。また、世帯数の増減に伴う団や部の統廃合及び新設の必要はないか伺う。

A 【市長】 消防団1部あたりの平均管轄世帯数は本年3月末現在



消防団員確保が課題(平成29年出初式)

【そのほかの質問】 災害時における行方不明者の氏名公表について

市政「こが聞きたい」
いっぱん質問



高橋 修 議員
(市民クラブ)

鉛スキー場の運営体制について 現時点では判断する時期になし

Q 鉛温泉スキー場の今後の運営体制について、現在の市直営から民間へ移行し、冬場の観光振興へつなげる考えはないか伺う。

A 【市長】 鉛温泉スキー場の運営方法については、昨年、民間事業者から指定管理による運営を行いたいとの意向表明が非公式にあった。このような指定管理により市の負担が少なくなり、観光客も増加し利用者の利用が図られるのであれば前向きに検討したいが、現時点においては、本市が外部委託または指定管理者制度を導入するために必要な要素が含まれていないものと考えている。今後は提案事業者とも協議し、その内容により提案を受け入れることも検討していきたい。また現時点では判断する時期にはない。

台湾との友好協定を

Q 現在、岩手県内の自治体において、台湾と姉妹都市、友好都市を結んでいる自治体はゼロとなっている。空港を要する自治体として、さらなる交流人口の拡大と定期便の実現に向け台湾の都市と友好関係を結ぶ考えはないか伺う。



利用者増が望まれる鉛温泉スキー場

【そのほかの質問】 防災力の強化について



近村 晴男 議員
(花巻クラブ)

中学生の医療費助成について 子育て支援策全体の中で検討

Q 市長は3月議会の施政方針で「医療費助成について中学生までの拡充を検討する」と述べたが、これまでの検討経過と今後の方針について伺う。

A 【市長】 将来を担う子どもの施策は国全体で推進するべきであり、これまでも国の責任において制度化するよう政府予算要望や提言を重ねてきた。中学生までの医療費助成について事業費を試算しているところであり、子育て支援施策全体の中で検討していく。

県指定への見通しは

Q 「あんどんまつり」をユネスコの無形文化遺産登録を目指すには前提として国の指定が不可欠と思う。そのためにはまず県指定が必要である。市では県文化財指定に向け関係機関に上申されているか。指定についての現状の捉え方、指定への見通しを伺う。

A 【教育長】 県の文化財指定を目指すためには、保存・伝承の体制を整えることのほか、山車の制作や音頭上げ等、総合的な文化財として、さらに



県文化財指定を目指している「あんどんまつり」

【そのほかの質問】 「花巻市名誉市民」の創設について、災害公営住宅整備事業について



若柳 良明 議員
(平和環境社民クラブ)

公立保育園民間移管の検証は 本年度3回の三者会議を実施

Q 公立保育園の民間移管について「保護者・法人市による民間化の検証」を行うことになっているが、進捗状況について伺う。

A 【教育長】 民間化の検証については、市職員の訪問指導と保護者、移管先法人、市の三者による定期的な協議により保育内容等を確認している。三者会議については、円滑な民間化に向けて昨年度はそれぞれの園で6回開催し、本年度は8月までに3回実施して子どもの様子や保育内容について意見交換を行った。7月に保護者を対象にアンケート調査を実施した結果、民間化後の保育は概ね良好であると捉えている。反面、保護者から民間化を進める園の公表時期が遅くなったことへの不満などの意見が出されたことから、平成30年度から31年度を計画期間とする花巻市保育園再編第2期実施計画では、公表時期を来年度の入所申し込みより早めるなど意見を反映させていく。

自主防災組織の活性化

Q 自主防災組織によって活発に活動しているところ、組織されているが活動が不十分などところなどさま



自主防災組織と連携した訓練(亀ヶ森地区)

A 【市長】 本年8月4日に開催した防災講演会の中で、避難行動支援者の個別避難支援計画の作成について、先進的な取り組みを行っている自主防災組織のリーダーが事例発表を行い、参加者から非常に参考になったなどの意見が多数寄せられた。

【そのほかの質問】 職場環境の改善について